



受付日：令和3年8月11日
受付番号：HP21-KT100



接合部性能試験成績証

東京都港区海岸1-11-1
ニューピア竹芝ノースタワー17階
ハウスプラス確認検査株式会社
代表取締役社長 坂 慎 義 夫

試験結果は以下のとおりであることを証明する。
令和3年10月8日

1. 接合金物名称	MS-25 II (合板あり)
2. 試験依頼者	株式会社 カナイグループ 〒340-0833 埼玉県八潮市西袋717-1
3. 目的	枠組壁工法建築物の接合部の「基準許容応力」を試験により評価する。
4. 試験内容	たて枠材端部接合部(継手型)の引張試験 なお、準拠する試験方法・評価方法はハウスプラス確認検査株式会社制定「木造建築構造試験事業における接合部性能試験業務方法書(令和2年9月11日制定)」及び2018年枠組壁工法建築物構造計算指針による。
5. 試験体仕様	<p>1) 接合金物 「MS-25 II」1個 材 質: NSDC570S^{*1}*2 寸 法: (外形)30mm×250mm t=0.6mm 接合具用孔 6-φ3.5mm 表面処理: K27</p> <p>2) 接合具 たて枠(上側): 「太めくぎ ZN40」3本 材 質: SWM-N(JIS G 3532) 寸 法: 頭部径φ7.14mm 頭部厚さt=1.5mm 胴部径φ3.33mm 全長L=39.6mm 表面処理: HDZ A(JIS H 8641) たて枠(下側): 「太めくぎ ZN40」3本 材 質: SWM-N(JIS G 3532) 寸 法: 頭部径φ7.14mm 頭部厚さt=1.5mm 胴部径φ3.33mm 全長L=39.6mm 表面処理: HDZ A(JIS H 8641)</p> <p>3) 枠組材料 たて枠材(上側): 38mm×89mm×500mm JAS 枠組壁工法構造用製材 スギ 甲種2級 含水率: 10.0~13.0% 全乾密度: 0.35~0.39/cm³ たて枠材(下側): 38mm×89mm×500mm JAS 枠組壁工法構造用製材 スギ 甲種2級 含水率: 10.0~13.0% 全乾密度: 0.36~0.38/cm³ 構造用パネル(上側): 100mm×535mm t=9.0mm JAS OSB 4級 含水率: 8.0~8.5% 全乾密度: 0.60~0.62/cm³ 構造用パネル(下側): 100mm×573mm t=9.0mm JAS OSB 4級 含水率: 8.0~8.5% 全乾密度: 0.60~0.63/cm³</p> <p>4) その他 構造用パネル・たて枠の接合: CN50 3本</p> <p>*1 日本製鉄(株)が定める規格に適合したものの(JIS G 3323 溶融亜鉛アルミニウムマグネシウム合金めっき鋼板及び鋼帯) *2 引張強さ570N/mm²以上の鋼板</p>
6. 試験条件等	試験体は接合部を実状に合わせた仕様としている。 試験体は、たて枠両端部にM12ボルト・ナットを4本用いて治具に固定した。又、たて枠の横倒れを防止するため、サポート治具を設置した。
7. 試験結果	基準許容応力 2.68 kN (詳細については接合部性能試験報告書に示す)
8. 試験場所	ハウスプラス確認検査株式会社 横浜第二試験所: 神奈川県横浜市鶴見区矢向1-1-1 10番
9. 試験実施日	令和3年9月8日
10. 試験実施担当者	ハウスプラス確認検査株式会社 評定部 阪口 明弘 工藤 健

この接合部性能試験成績証を転載するときは、必ず全文を記載してください。



受付日：令和3年8月11日
受付番号：HP21-KT099



接合部性能試験成績証

東京都港区海岸1-1-1
ニューピア竹芝ノースタワー17階
ハウスプラス確認検査株式会社
代表取締役社長 坂横 義夫

試験結果は以下のとおりであることを証明する。
令和3年10月8日

1. 接合金物名称	MS-25 II
2. 試験依頼者	株式会社 カナイグループ 〒340-0833 埼玉県八潮市西袋717-1
3. 目的	枠組壁工法建築物の接合部の「基準許容応力」を試験により評価する。
4. 試験内容	たて枠材端部接合部(継手型)の引張試験 なお、準拠する試験方法・評価方法はハウスプラス確認検査株式会社制定「木造建築構造試験事業における接合部性能試験業務方法書(令和2年9月11日制定)」及び2018年枠組壁工法建築物構造計算指針による。
5. 試験体仕様	<p>1) 接合金物 「MS-25 II」1個 材質：NSDC570S^{*1*} 寸法：(外形)30mm×250mm t=0.6mm 接合具用孔 6-φ3.5mm 表面処理：K27</p> <p>2) 接合具 たて枠(上側)：「太めくぎ ZN40」3本 材質：SWM-N(JIS G 3532) 寸法：頭部径φ7.14mm 頭部厚さt=1.5mm 胴部径φ3.33mm 全長L=39.6mm 表面処理：HDZ A(JIS H 8641) たて枠(下側)：「太めくぎ ZN40」3本 材質：SWM-N(JIS G 3532) 寸法：頭部径φ7.14mm 頭部厚さt=1.5mm 胴部径φ3.33mm 全長L=39.6mm 表面処理：HDZ A(JIS H 8641)</p> <p>3) 枠組材料 たて枠材(上側)：38mm×89mm×500mm JAS 枠組壁工法構造用製材 スギ 甲種2級 含水率：11.0～13.5% 全乾密度：0.36～0.39g/cm³ たて枠材(下側)：38mm×89mm×500mm JAS 枠組壁工法構造用製材 スギ 甲種2級 含水率：10.5～13.0% 全乾密度：0.37～0.38g/cm³</p> <p>*1 日本製鉄(株)が定める規格に適合したもののJIS G 3323 溶融亜鉛アルミニウムマグネシウム合金めっき鋼板及び鋼帯) *2 引張強さ570N/mm²以上の鋼板</p>
6. 試験条件等	試験体は接合部を実状に合わせた仕様としている。 試験体は、たて枠両端部にM12ボルト・ナットを4本用いて治具に固定した。又、たて枠の横倒れを防止するため、サポート治具を設置した。
7. 試験結果	基準許容応力 3.13 kN (詳細については接合部性能試験報告書に示す)
8. 試験場所	ハウスプラス確認検査株式会社 横浜第二試験所：神奈川県横浜市鶴見区矢向1-1-1 10番
9. 試験実施日	令和3年9月7日
10. 試験実施担当者	ハウスプラス確認検査株式会社 評定部 阪口 明弘 工藤 健

この接合部性能試験成績証を転載するときは、必ず全文を記載してください。